

響け!! 歓喜の学歌

メンバー紹介

()カッコ内は学部学年、出身高・所在地



白幡 晶
(経営4、男子駅伝部部長)
副部長、男子駅伝部部長
行くぞ！走るぞ！勝ぞぞ！
最後まで支えてくださった方々に感謝し、精一杯の走りで見返します。



田村 優典
(経営4、青森山田高・青森)
応援してくれる人たちに元気を与えられるよう精一杯走ります。



磯山 貴大
(経営4、鹿島学園・茨城)
上位目指して頑張ります!!



大黒 渉
(経営4、大館国清高・秋田)
学生生活で最後の大会、死ぬ気で走ります!



玉澤 悠輝
(経営4、市船橋高・千葉)
頑張ろう日本!! 頑張ろう城西!! 一人でも多くの人に勇気を与えられる走りを。



橋本 隆光
(経営4、仙台育英高・宮城)
最後の箱根、リベンジ、感謝、いろいろな思いを力にして最後まで顔で終われるように頑張ります。



山本 隆司
(経営4、防府高・山口)
今まで支えてくださった方々に感謝し、精一杯の走りで見返します。



石橋 佑一
(経営3、出雲高・鳥根)
最後まで全力で走ります。



中原 大
(経営3、世羅高・広島)
チームに貢献できる走りをしますので応援よろしくお願いします。



濱本 栄太
(経営3、防府高・山口)
今年も期待していいと思えます。



松岡 竜也
(経営3、白石高・佐賀)
みなさんに感動を与える走りをします!!



平田 啓介
(経営2、八女工高・福岡)
最大限の力で走ります。



山口 浩勢
(経営2、惟信高・愛知)
今年は勝負の年。確実に5位以内。



松村 元輝
(経営1、西京・山口)
チームに貢献できるように頑張るので応援よろしくお願いします。



村山 紘太
(経営1、明成・宮城)
自分が出来る力を一杯発揮しチームに貢献できるように頑張ります。



横田 良輔
(経営1、利府・宮城)
いい意味で期待を裏切ります。チームのために自分にできることを一杯やります。



本番へ仕上がり上々

チーム二丸 本音がこぼれ出す

箱根駅伝選抜合宿が、11月22日から12月7日まで沖縄で行われた。

全日本大学駅伝では10位という納得のいかない結果に終わった箱根にむけての仕上がりは上々だ。

「全日本大学駅伝が終わって部員全員が本音を出した。練習を始めた。練習を始めた。練習を始めた。」

「練習を始めた。練習を始めた。練習を始めた。」

沖縄で選抜合宿

「全日本大学駅伝が終わって部員全員が本音を出した。練習を始めた。練習を始めた。練習を始めた。」

「練習を始めた。練習を始めた。練習を始めた。」



4年生が引っ張り、しっかりと練習を消化した

私の箱根駅伝

平塚 潤准後援

箱根駅伝の思い出を箱根駅伝には日本体育大学の1年生の時から出場していました。7区を走り、チームの2区には城西の女子駅伝部の鈴木尚人監督が出場していたことも思い出の一つです。結果は3位。悔しい思いをしました。悔しい思いをバネに、当時は1月

に開催されていた全日本大学駅伝に出場しました。1年生だったこともあり、先輩たちからの期待によるプレッシャーを感じました。試合前に無言で肩を叩かれたりしました。実際の走りは最初からオーバーペース。最終的に3区を区間新のタイムで走り、優勝に貢献しました。2年生の時

は、オーバーワークによる足のけがで、箱根駅伝には出場できませんでした。強い先輩がいて、チーム全体として力があったので、準備ができていました。しかし、自分が出場した場合は優勝できたかもしれないと思ってしまう。

選手時代の経験は、やせで学生を指導している際に生かされています。指導者としての力が、今はマスコミを含め、周りが過保護になりすぎているのが、あると思います。選手たちが自分自身で考えられるような環境作りが必要だと思います。箱根駅伝を最終目標にするのではなく、その先の実業団やオリンピックを見据えてモチベーションを高めてほしいです。

男子駅伝部にもメッセージをお願いします。城西の選手たちには、ここまで強くなってきたので、スピード権を獲得してもらって、1年間練習してきたことを発揮していただきたいです。

【聞き手・寺田登】

【取材スタッフ】
編集長 菅原 隆
副編集長 菅原 隆

【記者募集】
記事を書いてみませんか。初心者でも大丈夫です。新聞記者経験がある職員が取材・書き方を基本から指導します。興味がある学生、やる気がある学生、留学生も大歓迎です。写真、イラスト、漫画など協力してくれる学生、新入生もぜひ参加してください。連絡はこちらまで。josa@sports@josai.ac.jp

【監修・アドバイザー】
菅原 隆
副編集長 菅原 隆

男子「全日本主座決定戦」出場

弓道部 女子は「1部に復帰

弓道部男子は、11月19日、20日に伊勢神宮弓道場で開催された第59回全日本学生弓道王座決定戦に出場した。男子は関東学生弓道部の1部リーグに復帰を果たした。男女とも秋季大会の紙上で表明した目標を達成した。

男子は9月から10月にかけて行われた関東学生弓道選手権大会中関東ブロック1部リーグ戦で優勝し、その後、各関東ブロックの1部リーグ優勝校が集う決勝戦でも優勝した。これが

男子は9月から10月にかけて行われた関東学生弓道選手権大会中関東ブロック1部リーグ戦で優勝し、その後、各関東ブロックの1部リーグ優勝校が集う決勝戦でも優勝した。これが

男子は9月から10月にかけて行われた関東学生弓道選手権大会中関東ブロック1部リーグ戦で優勝し、その後、各関東ブロックの1部リーグ優勝校が集う決勝戦でも優勝した。これが

男子は9月から10月にかけて行われた関東学生弓道選手権大会中関東ブロック1部リーグ戦で優勝し、その後、各関東ブロックの1部リーグ優勝校が集う決勝戦でも優勝した。これが

男子は9月から10月にかけて行われた関東学生弓道選手権大会中関東ブロック1部リーグ戦で優勝し、その後、各関東ブロックの1部リーグ優勝校が集う決勝戦でも優勝した。これが

男子は9月から10月にかけて行われた関東学生弓道選手権大会中関東ブロック1部リーグ戦で優勝し、その後、各関東ブロックの1部リーグ優勝校が集う決勝戦でも優勝した。これが

社の都駅伝 関東唯一シード獲得 女子駅伝部

「しっかりと練習を消化しチームとしての仕上がりがいい」と主務の栗田駿(経営4)は話す。前回の3秒差に泣いたの学歌が聴こえることあの日から1年。2年を期待したい。【千葉史典】



仙台市で行われた第29回全日本大学女子駅伝(社の都駅伝)・10月23日(日)で城西大学は6日入賞を果し、関東で唯一のシード権を獲得した。38・6分を6区間で走る仙台市のコース。気温26℃と、杜の都駅伝が始まって以来の高気温の中のレースとなり、脱水症状で途中棄権するチームもあるほどの過酷なレースとなった。

仙台市で行われた第29回全日本大学女子駅伝(社の都駅伝)・10月23日(日)で城西大学は6日入賞を果し、関東で唯一のシード権を獲得した。38・6分を6区間で走る仙台市のコース。気温26℃と、杜の都駅伝が始まって以来の高気温の中のレースとなり、脱水症状で途中棄権するチームもあるほどの過酷なレースとなった。

「しっかりと練習を消化しチームとしての仕上がりがいい」と主務の栗田駿(経営4)は話す。前回の3秒差に泣いたの学歌が聴こえることあの日から1年。2年を期待したい。【千葉史典】

「しっかりと練習を消化しチームとしての仕上がりがいい」と主務の栗田駿(経営4)は話す。前回の3秒差に泣いたの学歌が聴こえることあの日から1年。2年を期待したい。【千葉史典】

「しっかりと練習を消化しチームとしての仕上がりがいい」と主務の栗田駿(経営4)は話す。前回の3秒差に泣いたの学歌が聴こえることあの日から1年。2年を期待したい。【千葉史典】

「しっかりと練習を消化しチームとしての仕上がりがいい」と主務の栗田駿(経営4)は話す。前回の3秒差に泣いたの学歌が聴こえることあの日から1年。2年を期待したい。【千葉史典】

「しっかりと練習を消化しチームとしての仕上がりがいい」と主務の栗田駿(経営4)は話す。前回の3秒差に泣いたの学歌が聴こえることあの日から1年。2年を期待したい。【千葉史典】

記録	1区	2区	3区	4区	5区	6区
10分17秒						
19分31分						
23分30分						
27分27分						

【成績】
総合6位(6位までがシード権獲得)
2時間11分35秒

【選手に贈るエール】
城西大学は、地域貢献活動積極的に取り組んでおり、地元の方々の親しみと感謝を込めた応援が熱くなります。

城西大学は、地域貢献活動積極的に取り組んでおり、地元の方々の親しみと感謝を込めた応援が熱くなります。

城西大学は、地域貢献活動積極的に取り組んでおり、地元の方々の親しみと感謝を込めた応援が熱くなります。

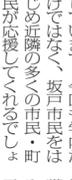
城西大学は、地域貢献活動積極的に取り組んでおり、地元の方々の親しみと感謝を込めた応援が熱くなります。



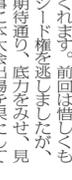
木下高志 城西大学 学長



佐藤鉄也 同窓会会長



森本雅彦 学長



井上悦夫 男子駅伝部後援会長



伊藤仁 城西大学 学長

